

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度	科目名	オーディオ & ビジュアル 2	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全専攻	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	授業内で資料プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	瀧口		実務経験の有無・職種	有・エンジニア	
学習目的					
オーディオ&ビジュアル1で学んだことをベースに機器の基本的な原理を理解し応用力をつける。現場では多くの種類の機器の操作をすることになるが、操作を覚えただけなのか動作原理まで理解して操作したかにより、対応力、応用力が違ってくる。プロフェッショナルになるための基礎力、応用力を付けるためにはこの科目で基礎を固めることが重要でありステップアップにつながる。					
到達目標					
音響機器、映像機器の基本原理を理解し作品制作への応用力を身に付ける。音楽業界ではレコーディングスタジオ等、映像業界ではMAスタジオ、ビデオ編集室等のポストプロダクションで新人が求められる知識・技術を身につけることにより就職活動、研修等で使える内容を理解し、実践力のある人材になる。資格試験においては一般社団法人日本ポストプロダクション協会認定映像音響処理技術者資格認定試験合格を目指す。					
教育方法等					
授業概要	テキストは毎回配布する資料の空欄を授業中に埋めることにより完成する。プロジェクター、音響機器を使用し資料、素材映像等の説明をする。また、配布資料の静止画では分かりづらい物は動画を制作しYouTubeにアップしいつでも確認できるようにしている。授業が一方通行にならないように課題を出し適宜質問等をする。理解度確認のため定期的に小テストを行い解説する。				
注意点	資料は空欄を埋めることにより完成し、卒業後も確認できるようになる。授業中にしっかり書き込み自分用の資料を完成させること。欠席等で資料をもらわなかった時はすぐに資料を取りにくること。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	35%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	同期		テレビおける同期の必要性がわかる。		
2回	3原色		3原色・加色法、減色法を理解できる。		
3回	補色・色の位相		補色、色の位相を理解できる。		
4回	色の3要素1		色の3要素（色あい、濃さ、明るさ）を理解できる。		
5回	色の3要素2		色の立体表現がわかる。		
6回	ビデオ信号の構成		同期信号、輝度信号、クロマ信号を理解し、ビデオ信号の構成がわかる。		
7回	ビデオ信号の測定		波形モニター、ベクトルスコープの見方がわかる。		
8回	タイムコード		タイムコードの必要性がわかる。		
9回	DF,NDF		ドロップフレーム、ノンドロップフレームの違いがわかる。		
10回	タイムコードと同期		タイムコードを使用した同期、シンク入れを理解できる。		
11回	映像の同期		同期の必要性がわかる。		
12回	画面の切換		複数の画面の切換を行う場合の同期の必要性がわかる。		
13回	外部同期		内部同期、外部同期を理解できる。		
14回	デジタル機器の同期		デジタル機器における同期を理解できる。		
15回	同期まとめ		色々な場合の同期を理解できる。		